

開成町は 全校コミュニティ・スクールです

問 教育総務課 ☎82-5221

町では、町立幼稚園・小中学校全てに「学校運営協議会」を設置し、学校運営に地域の声を届けています。

「学校運営協議会」を設置する学校を「コミュニティ・スクール」といいます。開成町の学校は、これまで地域の皆さんに支えられて運営してきました。町では、そのような素晴らしい伝統を次世代へ続けていくことを目的として、学校運営協議会を各校に設置しています。



開成小学校の学校運営協議会

学校運営協議会委員が中心となった学校支援や、学校と地域が協働で取り組む防災訓練など、学校・家庭・地域が一体となって進める取り組みが増えています。こうした取り組みを進めることができるのは、コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」という意識が深まっているからです。町では、今年4月に開成幼稚園もコミュニティ・スクールに指定しました。設置する小中学校全てをコミュニティ・スクールに指定している自治体は、全国でも79市区町村で、県内では開成町だけです。町では、これからも地域の皆さんが学校運営に参画できるように、コミュニティ・スクールの推進していきます。



開成南小学校運営協議会委員 石綿 一弘校長

学校運営協議会には、学校の応援団としてお力添えいただきたいので、開成南小学校では、学区内の5自治会から一人ずつ委員として参画いただいております。これにより、会議では地域の子どもの様子を知ることができます。これからも学校運営協議会を核として、地域との絆を深めていきたいと考えます。



開成幼稚園学校運営協議会会長 井上 慎司さん

開成幼稚園のコミュニティ・スクールは、まだ始まったばかりです。この取り組みを形作っていくにあたり、私が子どもの頃のように、地域の方が子どもたちに気軽に声をかけてくれるような、地域とのつながりを作っていきたいです。幼稚園から中学校までが一体となって取り組んでいることが開成町のメリットだと思います。町としての大きな目標に向かって今後も取り組んでいきたいと思っています。

みんなで町の子どものことを考えています



開成小学校運営協議会会長 大脇 良夫さん

この制度により、生まれ育った地元を理解し、愛着を持つ子どもたちが数多く育っていくとして、彼らが活躍する舞台の不足が気になります。成人し地元で働く場があればこそ、この制度の値打ちが示されるはずで、「地の利に優れた生活に至便な町」に安穏とせず「若者たちの働く場が年々増えている開成町」と言えるよう産業振興や起業に取り組む必要があります。



文命中学校運営協議会委員 中村 俊文校長

コミュニティ・スクールの運営の中核は学校運営協議会です。文命中学校の会の構成員は現在8人で、地域・PTA・町行政・学校の代表者により構成されています。会議ではそれぞれが対等の立場で、学校運営や子どもたちについて意見を交わしています。今後も、防災訓練を始めとした地域とともにある学校づくりに実践的に取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査結果からみる開成町の子どもたち

4月21日(火)、小学校6年生(2校181人)と中学校3年生(159人)を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。その結果から、町の小・中学生の学力や生活習慣などの状況をお知らせします。

問 教育総務課 ☎82-5221

教科に関する調査の主な内容

- ・「知識」に関する問題：国語A、算数A、数学A
- ・「活用」に関する問題：国語B、算数B、数学B
- ・「知識」「活用」を一体的に問う問題：理科

町内小・中学校の結果

評価

小学校

事例を挙げて説明することや自分の考えを書くなどの「書くこと」に関して良好な結果が見られました。

基本的な計算は良好でしたが、記述式の回答の無回答率が高いという課題が見られました。

理科

おおむね良好な結果でしたが、「生命」に関する領域の理解に若干の課題が見られました。

中学校

文章を構成し、資料を基に自分の考えを書くことに関して良好な結果が見られました。

基礎・基本の定着がしっかりとされている様子が見られましたが、関数の理解や図形の証明に課題が見られました。

理科

天候などの地学的領域における科学的思考に良好な結果が見られました。一方、生物の領域の理解に課題が見られました。

今、求められている学力とは？

今まで偏りがちだった知識の習得だけでなく、それらを基に活用していく力も必要とされています。調査も「A知識」と「B活用」に分けて実施しています。

質問紙調査の主な内容

学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣など

町内小・中学校の結果

全国の児童・生徒の回答とおおむね同様

評価

全国に比べ10%以上差異があった項目を記載します。

小学校

●「授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と答えた児童の割合が高いです。調査でも「書くこと」の問題への

の正解率が高く、学びづくりの研究成果が表れています。

中学校

●「地域の行事に参加している」割合が高いです。町に愛着を持って生きている生徒が多く、地域が生徒の育成に深くかかわっていることがわかります。

小・中学校共通

●「授業では、友達との間で話し合う活動をよく行っている」と答えた児童・生徒の割合が高いです。今求められている学力のうち、思考・判断・表現力などを育成するための言語活動の充実が授業で図られていることがわかります。

●「自分には良いところがあると思う」と答えた子どもの割合は低めです。自分に自信を持つなどの感情を育むことが家庭・地域・学校で求められます。

調査を終えて

ここでは全国との比較によって優れている点と課題を整理しましたが、全国的な課題は町の子どもにも当てはまらず。例えば数学Bでは、平均正答率は低く、習得した知識を活用することには課題があります。また、ゲームやインターネットにかかわる時間の増加傾向も全国共通の課題と言えます。

町では、「生涯を通じての学習や体力づくりをとおして、自らを高め、自立を図る」という「開成町教育振興基本方針」に定めた目指すべき教育の姿を実現するため、保護者や地域の皆さんと協力して子どもたちのより良い成長を支援します。

こんな問題が出ました(算数B)

たか子さんはおつかいに行きます。まず、トマトを7個買います。お店ではトマトを次のように売っていました。

- 1個入りパック・・・100円
- 2個入りパック・・・180円
- 3個入りパック・・・270円

トマト7個の代金が最も安くなる買い方を下の①から④までの中から1つ選んでその番号を書きましょう。また、その買い方をしたときのトマト7個の代金を書きましょう。

- ①1個入りパックを7つ買う。
- ②2個入りパックを3つと1個入りパックを1つ買う。
- ③2個入りパックを2つと3個入りパックを1つ買う。
- ④3個入りパックを2つと1個入りパックを1つ買う。